

助産雑誌 Back Number

◆2014年8月号



特集
知っておきたい、
新生児・乳児のこと
病気の不安から母乳育児の疑問まで

助産師は産後さまざまな場面で母親の悩みを聞くことがあります。しかし、新生児・乳児のことはよくわからないという人も多いのではないのでしょうか？ 本特集では、相談を受けることの多い新生児・乳児の湿疹や便秘、発熱、予防接種などについて詳しく解説します。

◆2014年7月号



特集
タッチケアの
新たな時代

子育て支援の一翼を担うタッチケアは、初めて日本に紹介された1998年から16年の時を経て、現在さまざまな場で展開されています。本特集では、親と子の触れ合いの大切さを確認し、親子の手元にタッチケアを届けるために必要な知識や技術を詳しく解説します。

◆2014年6月号



特集
母乳不足と
補足を考える

健康な正期産児には、基本的に補足の必要はないといわれています。しかし母乳は足りているのか？ 補足は必要なのか？ と迷う場面は多くあります。本特集では、母乳不足と補足について理解を深め、医療者として、悩む母親への適切な支援につなげたいと考えます。

◆2014年5月号



特集
科学的根拠から
みなおす助産技術

普段何気なく行なっている助産技術。でもどうしてもその手技が必要なのか、どうして効果的なのか、根拠をもって説明できますか？ 本特集では、妊婦健診や分娩時、緊急時の重要な手技を取り上げ、根拠を理解したうえで実践できるよう、詳しく解説します。

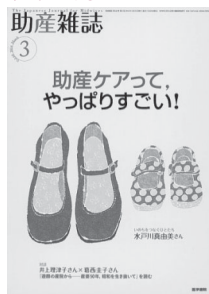
◆2014年4月号



特集
多胎の支援
妊娠中から育児まで

とてもたいへんな多胎の育児。産後うつや虐待予防の観点から取り組みが進められていますが、十分に支援が行き届いているとはいえません。本特集では、保健指導からグループづくり支援まで、妊娠中から育児期を通した助産師のかかりについて取り上げます。

◆2014年3月号



特集
助産ケアって、
やっぱりすごい！

妊娠中の助産師のかかわりかたによって、妊婦さんのリスクや、分娩の結果が変化するようです。助産所分娩と病院分娩を比較したデータを紹介し、育児への影響も見据えつつ、現在語ることのできる範囲内で助産師のかかわりの効果を明らかにすることを目指します。

◆2014年 2月号

特集

帝王切開のお産をケアしよう

1月号

HTLV-1 と母乳育児

◆2013年 12月号

産科超音波をよんでみよう

11月号

懸賞論文「私を変えたお産」受賞作発表

10月号

産後ケアを始めましょう

9月号

高齢妊娠・出産を支える

8月号

実習、どうしていますか？ 臨床・教育それぞれの立場から

バックナンバーのお取り扱いについて

① 2012年9月号以降の雑誌は、メッドブック(TEL:03-3817-5666)にて承ります。

② それ以前のものについてのご注文や在庫のご照会などは、下記へお願いいたします。

株式会社東亜ブック 〒171-0014 東京都豊島区池袋4-13-4 TEL:03-3985-4701 FAX:03-3985-4703